

(様式例 1)

小学校の指導改善プラン (学校用)

千代田小学校

達成度調査等及び児童の学習状況から見た成果と課題				○成果	▲課題
	第4学年	第5学年	第6学年		
国語	○「知識・技能」は千代田区の達成率より2.5ポイント高い。 ▲「書くこと」は千代田区の達成率より6.3ポイント低い。	○「読むこと」は千代田区の達成率より4.1ポイント高い。 ▲「書くこと」は、千代田区の達成率より0.4ポイント低い。	○「話すこと・聞くこと」は千代田区の達成率より12.0ポイント高い。 ▲「読むこと」は、千代田区の達成度より4.0ポイント低い。		
社会	○「現代社会の仕組みや働きと生活」は千代田区の達成率を下回るもののほぼ同程度である。 ▲「地理的環境と人々の生活」及び「歴史と人々の生活」は千代田区の達成率よりおよそ3.0ポイント低い。	○「現代社会の仕組みや働きと生活」は千代田区の達成率より5.2ポイント高い。 ▲「地理的環境と人々の生活」は千代田区の達成率より2.5ポイント低い。	○「現代社会の仕組みや働きと生活」は、千代田区の達成率より5.9ポイント高い。 ▲「地理的環境と人々の生活」は、千代田区の達成率より2.2ポイント高いが他の領域に比べ課題がある。		
算数	○「図形」は千代田区の達成率より4.5ポイント高い。 ▲「データの活用」は、千代田区の達成率より2.2ポイント低い。	○「データの活用」は千代田区の達成率より12.3ポイント高い。 ▲「図形」は千代田区の達成率より1.3ポイント低い。	○ほとんどの領域は、千代田区の達成率と同程度である ▲「数と計算」は千代田区の達成率より1.3ポイント低い。		
理科	○「生命・地球」は千代田区の達成率を下回るが全国と比較すると0.6ポイント高い。 ▲「物質・エネルギー」は千代田区の達成率より11.4ポイント低い。	○「物質・エネルギー」は千代田区の達成率より5.6ポイント高い。 ▲「生命・地球」は千代田区の達成率を2.2ポイント上回るが他の領域に比べ課題がある。	○「物質・エネルギー」は、千代田区の達成率より4.0ポイント高い。 ▲「生命・地球」は、千代田区の達成率より0.7ポイント低い。		
授業改善の方針					
国語	・読書の機会を多く設け、様々な文章に触れ語彙を増やすとともに文章を書く経験を多くもち、よりよい文章を書こうとする意識を高める。また、内容についての交流をして正しく読んだり、感じたことを伝えたりして読む楽しさを味わい、「読むこと」の力を付ける。さらに、小テストを定期的に行い、新出漢字の定着を図る。				
社会	・複数の資料を活用して学習を行い、資料を読み取ったり、関連付けて考えたりしながら社会的事象を捉えられるようにする。また、地図やデータを正しく読む力を付けるために、授業内で繰り返し資料を活用する機会を設け、習熟を図る。 ・資料等から読み取った内容や考えたことを書き、それを基に交流するなどして考えを深め、自分の生活につなげられるようにする。				
算数	・基礎的・基本的な内容や既習事項を繰り返し取り組む場を設定し定着を図る。さらに、思考したことを表現する場を多く設ける。協働的に学ぶことを通してより一層深い学びとなるように授業の工夫をする。 ・他教科と関連付け考える力を身に付けさせる。数的な活動を多く取り入れ、作図や測定・数と計算など体験的に学びを深められるようにする。				
理科	・既習事項や生活経験を関係付けて予想したり、実験計画をしたり、科学的な思考力を働かせる学習の工夫をする。 ・実物を見たり触れたりする機会や映像で繰り返し確認する場を設ける等、事象の変化や様子を捉える体験を重視する。また、観察や実験等の様子を詳しく記録したり、考えたことを書いたりして思考を深める時間を設ける。				
音楽	・楽器の指使いやタンギングの要点についてデジタル教科書や映像資料を活用し視覚的に理解できるようにするとともに、練習時間を確保する。また、実態に応じた教材選択や編曲を工夫し、講師や支援員と連携し個別指導を一層充実させる。 ・互いの演奏を聴き合いよさを感じ取ったりアドバイスし合ったりする活動を通して、よりよい音楽表現を目指そうとする意欲を高める。				
図工	・ワークシートや振り返りの効果的な活用により学習意欲をより高く向上させる。 ・カリキュラムを工夫し、繰り返し発達段階に即した課題に取り組ませることで、知識・技能をより深く定着させる。				
家庭	・学習の内容を生活に生かすことができるよう、映像資料の活用や、生活の振り返りを充実させ学習を深める。 ・調理実習や裁縫など実践を伴う学習では、道具の扱い方など丁寧に指導し、繰り返し体験できる学習の工夫をする。				
体育	・安全に気を付け、楽しく運動できるよう、ルールや約束を全体で丁寧に確認する。 ・自分の課題やめあてに向かって活動できるよう ICT を活用したグループでの教え合いや映像で動きをイメージする時間を設定し、よりよい活動につながる学習計画を立てる。また、活動の振り返りを行い、次時への意欲を高める。				
外国語	・ALT との連携を図り、主体的に学ぼうとする学習活動の構成や内容を考え、繰り返し取り組む時間を設定する。 ・ICT の活用で既習事項の定着を図る。また、全体での発語やALT や友達とのやりとりを多く行う学習の工夫をする。				